

Aくんはデートにぞ行かぬ。
未然形
連用形
Aくんはデートに 行きぬ。



1 アーず となれば四段活用動詞
行く||力行四段活用動詞

命令	已然	連体	終止	連用	未然	
					aか	ア
				iき		イ
		uく	uく			ウ
eけ	eけ					エ
						オ

ず(ない)
ぬ・て・けり・(ます)
こと・もの
ども
!

「遊ぶ」() (行) () (活用動詞)

命令	已然	連体	終止	連用	未然	
					a	ア
				i		イ
		u	u			ウ
e	e					エ
						オ

ず(ない)
て・けり・(ます)
こと・もの
ども
!



四段活用動詞は、「ず」(ない)をつけてアーず(ない)となる動詞です。
問 次の動詞は「行」段活用動詞「でしようか。」

笑ふ・・・笑 (ず) 行 段活用動詞

呼ぶ・・・呼 (ず) 行 段活用動詞

読む・・・読 (ず) 行 段活用動詞

弾く・・・弾 (ず) 行 段活用動詞

四段動詞は「aiuee」と活用(語尾が変化)



します。

2 **イーず** となれば **上二段活用動詞**。

上二段活用動詞は、「ず」（ない）をつけて**イーず（ない）**となる動詞です。

【落つ】は「涙がおち**イーず**」となりますね。だから、**上二段活用**です。タ行の**上の二段**で活用しているの

命令	已然	連体	終止	連用	未然	
						ア
t i よ				t i t i		イ
	t u る	t u る	t u			ウ
						エ
						オ

ず（ない）

ぬ・て・けり・（ます）

こと・もの

ども

！



【過ぐ・尽く】に「ず（ない）」をつけると
過ぐ・・・過（ず） || 「
尽く・・・尽（ず） || 「
行 行

段活用動詞
段活用動詞

3 **エーず** となれば **下二段活用動詞**。

下二段活用動詞は、「ず」（ない）をつけて**エーず（ない）**となる動詞です。

好意を【告ぐ】は「好意を告げ**エーず**」となりますね。だから、**下二段活用**です。ガ行の**下の二段**で活用しているので

命令	已然	連体	終止	連用	未然	
						ア
						イ
	g u れ	g u る	g u			ウ
g e よ				g e	g e	エ
						オ

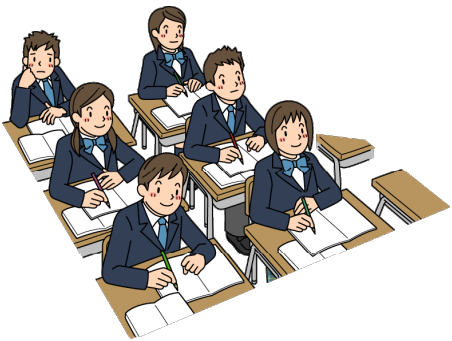
ず（ない）

ぬ・て・けり・（ます）

こと・もの

ども

！



【隔つ・寝】に「ず」をつけると

隔つ・・・隔（ず） || 「
寝・・・（ず） || 「
行 行

段活用動詞
段活用動詞

覚えておこう！「こーれが大事な五つ（の活用動詞）です。」

上・下・ラ変・ナ変・カ変・サ変

4 上一段活用動詞

「見る」は、「ず」をつけると「見イず」となりますが、上二ではなく、上一段活用動詞です。

* 語尾が変化

マ行の 上の二段で活用しているので マ行上一段活用動詞

命令	已然	連体	終止	連用	未然	
						ア
m i よ	m i れ	m i る	m i る	m i る	m i る	イ
						ウ
						エ
						オ

ず(ない)
ぬ・て・けり・(ます)
こと・もの
ども
!



ひ 干る
い 射る・鑄る・・
き 着る・・・
に 似る・煮る・・

行 行 行
「段活用動詞」
「段活用動詞」
「段活用動詞」

み 見る・顧みる・試みる
る 居る・率る
「行 行
「11個、覚えておこう」
「段活用動詞」

5 下一段活用動詞

「蹴る」は、「ず」をつけると、「蹴ず」となります。カ行の 下の二段で活用しているので「蹴る」は、「ず」をつけると、「蹴ず」となります。

「蹴る」は、「ず」をつけると、「蹴ず」となります。

行 段活用動詞

命令	已然	連体	終止	連用	未然	
						ア
						イ
						ウ
k e よ	k e れ	k e る	k e る	k e る	k e る	エ
						オ

ず(ない)
ぬ・て・けり・(ます)
こと・もの
ども
!

